



東京地区生コンクリート協同組合  
〒103-0027東京都中央区日本橋3丁目2番5号  
電話番号 (03) 3271-2181  
URL:https://www.t-namakyo.jp/  
発行責任者 高村尚

## ＝協組の動き＝

### (4月)

8日(月) 理事会(No. 1215)  
22日(月) 理事会(No. 1216)

### (5月)

7日(火) 理事会(No. 1217)  
20日(月) 通常総会(第48回)  
27日(月) 理事会(No. 1218)

### 【第48回 通常総会】

日時：5月20日(月)  
12時30分～  
場所：第一ホテル東京

### 人事異動

#### 【着任】

日付	部署	氏名
4月1日	技術部	片桐 克佳



お花見 ♡ 楽しみましたか？

## 登録販売店会議 開催報告

4月2日(火) 15時より鉄鋼会館において、当協組の登録販売店全 29社を対象に登録販売店会議を開催いたしました。当日は販売店各社の営業部門の責任者や担当者の出席の下、当協組の執行部より2024年度における販売方針及び各種取り組みについて説明し周知を図りました。会議の概要は以下のとおりです。

### 【主催者挨拶】

青木理事長が会議の冒頭で新年度早々の会議への参加及び日頃からの当協組の政策に対するご理解とご協力に対し謝辞を述べた後、2024年度は①生コン定価22,000円/m<sup>3</sup>、②出荷ベースの契約方式定着のための合意書提出、③旧契約の継続的な価格交渉の3点の重点施策を宣言しました。また2024年問題、賃上げ、原材料価格の高騰等のコストアップについては売価に転嫁せざるを得ない状況である中、3月8日に建設業法改正案が閣議決定され、コストアップによる請負代金等変更の申し出に対し発注者が応じることが努力義務化されたことへの期待が述べられるとともに、当協組における残コン有償化ルールの変更、完全週休2日制実施及びスライド改定等の各取り組みは生コン業界の持続可能な発展のために避けては通れない問題と認識している旨を述べ、登録販売店各社への協力を仰ぎました。



### 【議事】

主催者挨拶に続き以下の各項目についての説明を行っております。(以下Iは要副理事長より、II～IVは須田営業本部長より、V(1)(2)は夫々嶋津、一ツ木両

ワーキンググループ長より説明)

### I.2024年度 販売方針

(1) 生コンクリートの価格改定  
・2024年4月1日より 定価 22,000円/m<sup>3</sup> (改定額 1,000円/m<sup>3</sup>)

(2) 契約方式変更に関する合意書提出のお願い

(3) 軽量コンクリートのスライド改定について (方針)

・2024年10月1日より+12,500円/m<sup>3</sup>  
・2025年4月1日より+13,800円/m<sup>3</sup>

### II.営業部報告

(1) 東京協組需要区分の入力方法について

### III.技術部報告

(1) 残コン有償化制度対象変更について (お願い)

・2024年6月1日より最後の1台も有償化へ

(2) 参考配合(参考価格)作成何書・実機試験練り実施何書の件

(3) 組合員工場からの報告事項

### IV.調整管理部報告

(1) 今後の予定把握の在り方について

### V.ワーキンググループ報告

(1) 完全週休2日制実施について

(2) スライド改定検討内容について

以上の説明の後、閉会挨拶として一ツ木副理事長より2024年問題は様々なところに影響が出ている等、今後も様々な環境変化が想定されるなか、関わる各業界全体でコストを適切に価格転嫁出来る形、各々が利益を得られる形が出来ない限り長期的な展望は見えてこない状況にあることから、あらためて登録販売店各社へのお力添えをお願い申し上げました。今後も本会議を含め、登録販売店各社との意思疎通に万全を図る中で当協組の施策実行に努めて参ります。

## ボートの話

一ツ木 正



「ボート」、馴染みの薄いスポーツ代表です。2年前の理事就任コラムで学生時代ボート競技に没頭していたことを触れさせていただきました。夏冬関係なく、毎朝5時起床→乗艇練習→講義に出席→乗艇練習→ウェイトトレーニング→夜9時半には消灯を繰り返す300日ほどのストックな合宿所生活でした。朝の早い生コン社に勤務することとなり、学生時代に戻ったような感覚で毎日を過ごしています。

ボート競技は仕事にも通ずるものがあるそうです。鉄鋼王とよばれアメリカ史に名を刻むアンドリュー・カーネギーがプリンストン大学から成功の秘訣を講演してほしいと依頼を受けた際、「私の話を聞くより、ボートを漕ぎなさい。そこに成功のすべてがあるから。」と言って、大学に競技用の湖を寄贈したそうです(お金持ちはやるのが違う)。ボートは究極の団体競技と呼ばれるそうです。同時に同じ動きをするため、一選手のファインプレーではなく個人の努力を結集した協調性が求められます。個性豊かなメンバーが、個々の役割を認識し、一つの目標に向けてまとまるこ

とで大きな力を発揮します。勝つための計画を立て実行することの積み重ねが重要であり、仕事にも通じる点かと思えます。また競技は進行方向に向かって背を向けて進むため前が見えません。仕事も過去は見えますが将来は見えません。進んでいくに従い少しずつ見えてくるものです。当業界も突然の荒波突風にさらされています、またこの先いつ何が起こるか分からないという時代背景の中、途中で沈没しないよう、方向を間違わないようゴールを目指し強い意志をもって日々取り組んでいくしかないと思う次第です。

そんな思いに浸っている中、ボート部の先輩と話をする機会があったのですが「最近OB集めて毎週練習しているんだ、高齢層向けの大会もあるので君も参加しないか、80歳超のクラスもあるよ、同期の〇〇君も誘ったら乗ってきたよ」という話になり、断り切れずこのGWに開催される大学対抗戦のOBレースに駆り出されることになりました。体持つかなあ(泣!)

(株)東京菱光コンクリート

代表取締役)

## 2024年度登録販売店 29社決定

当協組は2月から3月にかけて、  
契約更新に関する数量基準と共販取  
り組み姿勢等を踏まえて登録販売店  
全29社と2024年度の取引方針に関  
して個別に協議を行い、29社と登録  
販売店取引基本契約を更新致しまし  
た。なお、従前からの登録販売店「宇  
部建設資材販売(株)」と「三菱商事建材

(株)」が昨年10月1日付けで「MUCC  
商事(株)」として企業統合し、「太田博  
(株)」が本年1月末で東京支店の事業  
を撤退しております。

(五十音順)

1. 芦沢商事(株)	9. ジャパン建材(株)	17. テッケン興産(株)	25. (株)三田商店
2. 安藤物産(株)	10. 住商セメント(株)	18. 東信建材(株)	26. 三谷商事(株)
3. 上原成商事(株)	11. スミセ建材(株)	19. トクヤマ通商(株)	27. (株)三好商会
4. SK マテリアル(株)	12. 大同建材産業(株)	20. 野原産業セメント(株)	28. 山一興産(株)
5. NC 建材(株)	13. 太平洋セメント販売(株)	21. 日立資材販売(株)	29. 吉田建材(株)
6. MUCC 商事(株)	14. 塚本建材(株)	22. (株)ファノス	
7. (株)オダ	15. (株)土金	23. 藤田商事(株)	
8. 三信通商(株)	16. ティーシートレーディング(株)	24. (株)ファノス	

## 完全週休2日制実施に向けて～周辺各協組との合同協議会を開催～

完全週休2日制実施に向けた当協組の取り組みについては、2025年4月1日実施を目標とする旨、2023年9月号の本紙面にご紹介しておりましたが、その後、ワーキング活動を進め、去る3月22日(金)に当協組を含め周辺6協組のワーキンググループによる合同協議会を開催しましたので、概要をご紹介します。

### 【参加対象協組】

埼玉中央、東関東、玉川、三多摩、

神奈川、東京各協組

### 【開催目的】

各協組の活動状況と今後の対外PRスケジュールに関する相互認識の共有

### 【議事の概要】

(1) 東京協組における活動報告(既の実施済みのPR活動、リーフレット、対外説明文書案、関連業界の取り組み状況紹介等)

(2) 周辺各協組における状況報告

(各々の協組における実施済みのPR活動や対外説明内容について)

各協組とも今後解決すべき課題を抱えているものの、2025年4月1日同時実施を進めることを共通認識として確認しました。

尚、本件合同協議会の概要については3月29日(金)に開催された関東I区地区本部の総務委員会においても説明の機会を頂き、同様の報告を行っております。

## 周辺協組2023年度 出荷実績

(m <sup>3</sup> )	東京		東関東		三多摩		玉川		神奈川		埼玉中		千葉西		千葉中		千葉北		合計	
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
上期計	1,299,992	89%	179,515	120%	392,622	134%	325,353	112%	490,361	94%	800,646	113%	265,310	103%	251,612	77%	200,986	91%	4,206,396	100%
下期計	1,444,392	110%	182,004	130%	389,004	120%	291,733	86%	569,112	111%	723,750	95%	354,980	153%	255,135	78%	139,990	56%	4,350,100	104%
年度計	2,744,383	99%	361,519	125%	781,626	127%	617,086	98%	1,059,473	103%	1,524,396	104%	620,290	126%	506,747	77%	340,976	73%	8,556,496	102%
契約残高	3,547,812		288,713		765,838		626,672		985,074		982,197		564,798		347,115		275,163		8,414,321	

## わが社の安全対策

## 東京湾岸産業株式会社

工場での労働災害というと、機械に巻き込まれたり挟まれたりするイメージを想像する人も多いでしょう。しかし、最も多い労働災害は転倒、次いで転落や墜落です。近年工場で使用している機械の安全性は高まっています。その為、機械に巻き込まれたり挟まれたりする事故は、少なくなっています。その一方で、人為的ミスや作業環境が原因の労働災害は、常に一定の割合で起こり続けています。

転倒や墜落は、すべての職場で起こる可能性がある労働災害です。しかし、工場の場合、危険な機会があったり床がコンクリートだったりすることもあり、重大事故に繋がる可能性が高くなります。また、高所で作業することが多い為、安全に気を付けて作業しても転倒や墜落のリスクは高まります。更に通路に余計なものが置いてあるだけで、転倒リスクは高まるでしょう。加えて、工場の作業は決まった手順で行うことが多いので慣れてくると、面倒な作業を省略したくなります。安全基準を厳しくしても、運用する人

が安全基準を怠ると、人的要因による労働災害が発生しやすくなります。

### 【東京湾岸産業の安全対策】

#### ①安全教育の徹底

作業の危険性や安全対策の方法に加えて、なぜ、安全対策が必要なのか、その理由を朝礼時に教育を行う。また、社長が居る場合、一緒に行う。

#### ②清掃と整理整頓の徹底

整理整頓や清掃が行われているか月1回の安全パトロール時に確認。また、個人が注意して守らなければならないことをチェックリスト化し、目立つところに貼る。

#### ③定期的な見回り

各部署1名交代制による安全パトロールを行い、作業環境が適切かどうかをチェックし安全衛生委員会で安全対策の不備や問題点を話し合う。

今後も東京湾岸産業は安全対策を強化し、何年・何十年、労働災害「ゼロ」を目標としてまいります。

	(出荷数量)				(引合、成約、契残)	
	3月(実績)		4月(想定)		3月(実績)	
	前年比	前年実績比	前年比	前年実績比	前年比	前年比
大型	222,051 m <sup>3</sup>	105.5%	220,000 m <sup>3</sup>	123.2%	引合	271,730 m <sup>3</sup> 27.8%
小型	26,118 m <sup>3</sup>	95.2%	30,000 m <sup>3</sup>	112.4%	成約	223,470 m <sup>3</sup> 26.8%
計	248,169 m <sup>3</sup>	104.3%	250,000 m <sup>3</sup>	121.8%	契残	3,547,812 m <sup>3</sup> 69.4%